（３）モニターからのコメント

＜荷動き動向＞	
仕入れ動向	**東京** **（米材問屋）** ・米材一般材丸太では、US 物 9 月積み輸出価格が 8 ヵ月振りに値上げとなった。米国内の需給が引き締まり、中国向け好転が背景にある。 ・秋需の最盛期に備えて多少仕入れを増したが、需要に迫力が乏しいため不発に終わる可能性もある。 **（外材問屋）** ・ロシア材の上級材入荷少なく、全体的にも入荷は少ない。欧州材も入荷は少ない状況。しかし天候不順で荷動き悪く、仕入が出来ない状況。 ・在庫を大量に持たなくとも販売に対応できる動きが続いている。 **（集成材問屋）** ・10 月も販売良いと思うので、仕入れは 9 月同様の量を購入予定。11 月以降は様子を見ていく。 **（中国・南洋材問屋）** ・旧在庫の入荷が少ないので仕入れをセーブしている。 ・荷動き悪く、入荷少ない。 ・産地の原木伐採量は多くなく、良材原木は輸出主体で製材工場にまわらず、強含み。 **（広葉樹等問屋）** ・年度末にかけて手当て始まる時期。 **（国産材問屋）** ・荷動き悪いため、積極的な仕入れはしていないが、良材製品等、品物は少ない。 ・注文材の動き良し。 **（仲買・小売）** ・前月多めに仕入れたので、当月から控えたい。 ・スギ材を使う仕事が終了したため国産材の仕入れはやや減少、来月はハウスメーカーとの関係で外材の仕入れはやや減少。 ・当用買いに変わりなし。 ・9 月に比べ、10 月に入り特に動き出した感はない。 ・新築 1 棟上棟のため当月やや増加。 **東海** **（仲買・小売）** ・販売好調でやや増加。 ・プレカット工場の需要に対応するため今年中は仕入れを増やす。プレカット工場の受注は多いと思う。
販売動向	**東京** **（米材問屋）** ・米材一般材丸太国内京浜マーケットでは、メーカーの丸太消費量が安定せず、問屋も光の見えない営業を強いられている。 ・9 月後半多少の動きが見られたが、10 月の声を聞いて元の静かな状態に戻ってしまった。徹底した当用買いの状況に変化なし。 **（外材問屋）** ・8 月から雨が多く、現場の遅れが出ているため荷動きは極端に悪くなっており、9 月も仮決算の所も多く仕入れを控える傾向にあり、売れない状況。 **（集成材問屋）** ・9 月同様、10 月も販売は良いと思う。11 月から落ち着いて来ると思う。 **（中国・南洋材問屋）** ・小口売りばかり。 ・ラワン平割の荷動きは低調、デッキ材の引合いは好調。 ・DIY 向けは順調だが、市中小売り向けは依然として低迷。 **（広葉樹等問屋）** ・直近の売り上げは減少傾向。 **（国産材問屋）** ・相見積もりが多く、仕事の少なさが目立つ。 ・構造材は動かない。 ・やや回復感が伺えたものの、まだ秋需本番とまでは至っていない。 ・スギ板・小割は動きが良い。 **（仲買・小売）** ・希望をもって横ばいとしたが、期待できない。 ・国産材を中心にやや減少が続く見込み。

販売動向	・取引先の保有物件継続性が不安定で、売上げ変動に影響。 ・価格動向は、輸入合板が値下がりする中、針葉樹は強気で値上げ傾向にあるようだ。 ・新築１棟上棟のため当月やや増加。 ・市況は全て静かです。 **大阪** **（仲買・小売）** ・建築着工件数は伸びているが、町の建築屋さんに仕事が全くない。忙しいのは大手だけか。 **東海** **（外材問屋）** ・プレカット以外は動きが大変悪い。 **（仲買・小売）** ・10～11 月見通しはやや増。 ・メインのプレカット工場への販売を強化しているので売上増になっている。 ・今月も動きは活発。
在庫動向	**東京** **（米材問屋）** ・引き続き京浜港に不良在庫丸太は見当たらず、メーカーの未引取り材が目立つ。 ・若干仕入れを増やした分、在庫が積み上がってしまった。当分このままで推移すると思う。 **（外材問屋）** ・荷動き悪く在庫が減らない状態。グレード、サイズにより無いものも出ているが、荷動きの悪い物も多く、全体的にはやや多めである。 **（集成材問屋）** ・在庫は現状維持か若干増やす予定。 **（中国・南洋材問屋）** ・徐々に減少しているが、旧在庫は（高値）は来春まで持越し。 ・メルクシ FJL の入荷が少なく、在庫は減少している。ラワン平割の在庫は多い。 ・変化なし。 **（広葉樹等問屋）** ・当面、負担増えるも在庫手当ては必要。 **（仲買・小売）** ・翌月は決算なので減らしたい。 ・在庫はいつもと同じ。 ・在庫を促される物件は少なく、現状在庫でほぼ賄える。 **東海** **（仲買・小売）** ・針葉樹構造用合板以外に入荷の不安な商品はないので在庫積み増す必要はない。 ・今季（今年）の販売増が見込めるため在庫を増やす。秋以降、材の品質が良くなるため安心して在庫ができる。

〈価格動向〉	
スギ正角	**東京（国産材問屋）** ・新材の出が少ない。 ・秋需に向けて在庫をいくらか増やしたいと思うが、良材は少なくやや高目となって思うに任せない。 **東京（仲買・小売）** ・変わらず。 ・保合。 ・静かです。 **大阪（仲買・小売）** ・内地材は価格安定。 **東海（仲買・小売）** ・WW に影響されて、相場は上げにくい。

ヒノキ正角 土台角	**東京(仲買・小売)** ・変わらず。 ・保合。 ・静かです。 **大阪(仲買・小売)** ・内地材は価格安定。 **東海(仲買・小売)** ・安値安定。 ・正角は、主流は集成材、やや不足気味のヒノキであるが、相場を上げるまでになっていない。土台角は、10月頃からやや不足気味、現状上げるまでに至っていない。今年中は横ばい推移か。
米ツガ	**東京(外材問屋)** ・正角は入荷少ないが、荷動き少なく保合いからやや弱保合い。土台角は大手プレカットは荷動き良いが一般マーケットは全く荷動きなく保合い。割物は入荷が少なくサイズによっては欠品もあるが荷動き保合い。 **東京(仲買・小売)** ・変わらず。割物良材少ない。 ・保合。 ・静かです。
米マツ平角	**東京(外材問屋)** ・大手プレカット向けは安値も出ているようだが、一般マーケットは保合い。 **東京(仲買・小売)** ・変わらず。 ・保合。 ・静かです。
北洋アカマツタルキ	**東京(外材問屋)** ・上級材は少なく強保合い、中級材は荷動き悪くメーカーにより安値も出ている。下級材はビルダー動き良く、保合い。 **東京（合板問屋)** ・荷動き低調。 **東京(仲買・小売)** ・変わらず。 ・保合。 ・3m物の不足感は変わらず。 ・静かです。 **東海（仲買・小売)** ・品質、価格とも先行不透明。
WW･RW集成材	**東京(外材問屋)** ・WWは入荷も国内メーカーも多くないが、スギ、RWへの樹種変更も進み、落ち着いた状況。RWは需給のバランスが比較的良く少な目ではあるが、値上げまでには行かず保合い。 **東京(集成材問屋)** ・納期はかかるが、価格は変わらず。 **東京(国産材等問屋)** ・WWはまとまった動きなし、小口注文のみ。 **東京(仲買・小売)** ・変わらず。 ・横ばいながらWWは動きそうと予想。 ・針葉樹構造用合板は、物の入荷が遅れ、思うように品物がそろわない。価格だけが、先高になっている。 ・静かです。 **大阪(仲買・小売)** ・品薄のため、大幅に上昇。小割材は逆に3,000～4,000円/m3値下がり。 **東海（仲買・小売)** ・RW,WWとも柱は材引き続き品薄だが、価格は今のところ落ち着いている。

合板	**東京（合板問屋）** ・型枠用合板は、安価売りが散見され弱含み。 **東京(仲買・小売)** ・型枠用合板（輸入）は下落から上昇に転じる見込み。針葉樹構造用合板はじわじわ上昇。 ・型枠用合板は、9 月決算月で安い物が出たが、10 月からは戻りそう。針葉樹構造用合板は商品少なく強い。 ・型枠用合板は、20 円～30 円下がると予想。針葉樹構造用合板 12㎜は 20 円～30 円の上げ予想。 ・針葉樹が強い。 ・静かです。 **大阪(仲買・小売)** ・年末に向け、品薄・高騰が予想される。 **東海(仲買・小売)** ・輸入合板の下落は落ち着いた。針葉樹構造用合板は品薄感厳しくなってきた。 ・針葉樹厚物合板が品薄状態になっている。 ・10 月まではやや下落。